

整備事業評価書

(都道府県名: 静岡県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	11	0	11	141.5	6	無	総合的には目的を達成しており、事業の効果が認められる。 達成率の低い事業については、目的達成のための具体的な取組に向けて支援を行っていく。	県平均では目標を達成した。 目標を達成できなかった地区については、県による改善指導が必要
経営力の強化	/	/	/	/	/	/	/	/
食品流通の合理化	/	/	/	/	/	/	/	/

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名：静岡県)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
			計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率			計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他							
島田市	株式会社いくみ村	【畑作物・地域特産物】(需要に応じた生産量の確保)事業実施地区において荒茶生産量の増加 畑作物・地域特産物(茶)	28,343 kg	33,529 kg	37,876 kg	29,657 kg	50,489 kg	5.9%	荒茶生産量が4.6%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物】(需要に応じた生産量の確保)事業実施地区において契約取引の割合増加	10.6%	94.7%	77.4%	68.0%	31.5%	274.6%	契約取引量の割合が57.4%増加した		・農産物処理加工施設 荒茶加工施設 1棟 1,166.04㎡ ・製茶機械 120K1ライン ・仕上茶加工機械(総合調整機) 1台	311,777,550	146,465,000			163,312,550	H21.3.23	茶園の集積が進まなかったため荒茶生産量については目標未達であった。今後、管理困難となった近隣茶農家の茶園の集積や参画農家を勧誘するなど受益面積の拡大を図る。	凍霜害等自然災害により生葉収量が減少し、荒茶生産量については目標を下回ったが、契約取引量については目標を大幅に上回る成果が得られた。今後は荒茶生産量を確保する取組を図るよう指導する。		
掛川市	(農)山喜製茶組合	【畑作物・地域特産物】(風・霜等による農作物被害の防止)事業実施地区において平均単収の増加 畑作物・地域特産物(茶)	1,326 kg/10a	-	1,099 kg/10a	872 kg/10a	1,741 kg/10a	-109.3%	平均単収が34.2%減少した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物】(風・霜等による農作物被害の防止)事業実施地区において平均単収の増加	903 円/kg	-	1,478 円/kg	1,939 円/kg	1,101 円/kg	523.2%	平均単価が114.7%増加した		・農作物被害防止施設 ・防霜施設一式	11,198,250	6,332,000			6,866,250	H21.2.27	防霜ファンの導入により甚大な凍霜害により生葉収量が減少し、平均単収については、目標を上回る成果が得られなかった。今後は樹勢回復や施設の適切な利用により被害防止に努めるよう指導する。			
御前崎市	(有)アグリサポート御前崎	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区において飼料収穫・収面積を3%以上増加 稲わら	30ha	42ha	51ha	58ha	40ha	280.0%	飼料収穫・収面積が93.3%(28ha)増加した	稲わら	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区において受託農家戸数を3%以上増加	6戸	10戸	10戸	20戸	12戸	233.0%	受託農家戸数が233%増加した		・自走式 ロールベアラ 1台 ・梱包格納用機械 1台 ・積込機 1台 ・テッダー レーキ 1台	12,795,300	4,962,000	2,437,000	6,296,300	H20.8.15	稲わらを地域の肉牛・酪農家に供給し、地域の粗飼料自給率が向上した。また安定的に供給する体制が整えることができた。	効率的な機械体系を導入したことで、目標を大幅に上回る成果が得られた。			

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他					
浜松市	浜名酪農協同組合	飼料作物(とうもろこし)	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区において飼料収穫・収集面積を0.5ha以上増加	25ha	116ha	161ha	141ha	200ha	66.2%	飼料収穫・収集面積が116ha(464%)増加した	飼料作物(とうもろこし)	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区において受託農家戸数を1戸以上増加	0戸	35戸	35戸	41戸	43戸	95.3%	受託農家41戸となった		484,890,000	218,796,000			286,194,000	H20.7.20 H21.2.8	飼料作物収穫調整機一式のみのH20.7.20 H21.2.8	コントラクターにより飼料作物141haを収穫した。TMRセンターが安定稼働しTMRの通年による継続的な供給が行われるようになり、自給飼料増産の基盤を強化することができた。今後は目標面積の達成に向け、ほ場の集積化などによる作業効率の改善に取組んでいく。	作付面積については、播種期の降雨の影響により成果目標を下回る結果となっているが、受託農家数の増加や自給飼料の増産が図られ、TMRセンターの安定稼働の体制が整った。		
富士宮市	村山共同機械利用組合	永年牧草	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区において飼料収穫・収集面積を3%以上増加	16ha	18ha	21ha	25ha	25ha	100.0%	飼料収穫面積が56.3%(9ha)増加した	永年牧草	【飼料増産】(飼料増産)事業実施地区においてha当たり労働時間を2%以上削減	410時間/ha	410時間/ha	310時間/ha	310時間/ha	310時間/ha	100.0%	収穫調整労働時間の増加割合が24.4%低減された		5,848,500	2,288,000			3,560,500	H20.12.19	モアコンディショナー 1台 テッターレーキ 2台 ペールラップ 1台 ペールグラブ 1台 マニアスプレッター 1台	収穫面積の増、労働時間の短縮の両項目において目標達成出来た。	効率的な機械体系を導入したことで、目標達成できた。更なる収穫面積の拡大や労働時間の削減が期待される。		
静岡市	新丹谷土地改良区	果樹(柑橘)	【果樹】(生産性向上)平均単収の割合の増加	1,660 kg/10a	1,902 kg/10a	2,137 kg/10a	2,291 kg/10a	2,074 kg/10a	152.4%	平均単収が38.0%増加した	果樹(柑橘)	【果樹】(生産性向上)病害虫被害割合の減少	30%	0.56%	0.50%	0.33%	2%	105.9%	かいよう病発生率が29.6ポイント減少した		33,400,500	13,125,000			20,275,500	H21年3月31日	- 農作物被害防止施設 2,069m	本格的な事業効果の発現については数年掛かると思われるが、今後も適正な園地管理を行い、常に品質の良い果実を効率的に生産するような体制を整備していく。	成果目標に掲げた平均単収の増加及び病害虫被害の軽減が達成し、生産性の向上が図られている。		

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
			計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率			計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他							
			リットル	リットル	リットル	リットル	リットル				/kg		/kg	/kg	/kg															
島田市	菊翠茶農業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【原油高騰対策 畑作物・地域特産物(茶)】(生産性向上) 荒茶加工施設の燃料の使用量を低減	0.9331	0.9371	0.7580	0.6926	0.7465	128.8%	燃料の使用量を25.8%低減させた	畑作物・地域特産物(茶)	【原油高騰対策 畑作物・地域特産物(茶)】(生産性向上) 当該農業機械の利用において労働時間の増加割合を10%以下に抑制	66時間	—	58時間	47.6時間	66時間	378.7%	労働時間は27.8%減少した		79,800,000	38,000,000			41,800,000	H21.3.27	導入した機械による省エネ効果があったが、他にも耐用年数を過ぎた機械があるので、計画的な機械更新を図ることで、更なる省エネ対策を進める。	成果目標に掲げた燃料の使用量及び労働時間の増加割合ともに目標を達成しており、効率的な茶工場運営がされている。		
掛川市	農事組合法人五明茶業組合	畑作物・地域特産物(茶)	【国産原材料供給円滑化対策 畑作物・地域特産物(茶)】(需要に応じた生産量の確保) 事業実施地区において契約取引の割合増加	0.0%	—	24.0%	25.0%	20.0%	125.0%	契約取引の割合が25%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【国産原材料供給円滑化対策 畑作物・地域特産物(茶)】(需要に応じた生産量の確保) 事業実施地区において従来とは異なる茶種の摘採面積の占める割合増加	0.0%	—	23.0%	25.0%	20.0%	125.0%	従来とは異なる茶種の生産数量が25%増加した		132,510,000	63,100,000		6,310,000	63,100,000	H21.3.30	計画的な茶工場運営を行うことで、高品質な茶の生産とともに茶商との契約取引による安定した荒茶価格での取引を目指す。	成果目標に掲げた契約取引量及び従来とは異なる茶種の変遷とともに目標を達成しており、効率的な機械体系の導入により安定的な茶工場運営が期待される。		
御前崎市	(株)やまま満寿多園	畑作物・地域特産物(茶)	【国産原材料供給円滑化対策 畑作物・地域特産物(茶)】(需要に応じた生産量の確保) 事業実施地区において荒茶生産量の増加	74,298	76,386	88,886	84,908	105,000	34.5%	荒茶生産量が14.2%増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【国産原材料供給円滑化対策 畑作物・地域特産物(茶)】(需要に応じた生産量の確保) 事業実施地区において契約取引の割合増加	0.0%	0.0%	26.2%	57.7%	21.9%	263.4%	契約取引の割合が57.7%増加した		39,690,000	19,900,000			20,790,000	H21.3.27	凍霜害により生葉取量が減少して事業成果が得られなかった。自然災害対応策を予め定めて置く必要がある。	凍霜害により生葉取量が減少し、荒茶生産量については目標を上回る成果を得られなかった。耐寒性が強い品種への移行や凍霜害対策などに万全を期すように指導する。		

